

(案)

区自治協議会提案事業 事業評価書

西区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	防犯事業(サブテーマ 環境美化事業) 【事業費予算 600 千円】
事業目的・概要	西区は特殊詐欺、自転車盗難の被害が新潟市のなかでも多く発生していることから、被害防止に向け、実際に被害に遭っている(狙われやすい)年齢層を対象に各種防犯活動に取り組んだ。
事業の実施実績 (実施回数, 参加者数など)	<p>①特殊詐欺防犯講演会 11月16日(土)黒崎市民会館にて、三流亭楽々氏から落語による笑いを交えた講演「笑って楽しく防犯落語」、新潟西警察署刑事課から多発している特殊詐欺の実態と防犯対策についてご講演いただいた。参加者は約150名。</p> <p>②自転車盗難防止キャンペーン 自転車盗難が多く発生している区内の駅(小針駅、内野駅、内野西が丘駅)において、被害に遭っている近隣の高校の生徒会と協働で、駅の利用者に啓発用ポケットティッシュを配布し、自転車の施錠を呼びかけた。</p> <p>③ポイ捨て防止看板 ポイ捨てに悩まされている地域の不法投棄ごみ減少を目的に看板を作成し、希望するコミ協、自治会に配布した。</p>
事業の評価 <small>地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など</small>	<p>【成果】 講演会については、事後アンケートで全体の96%の参加者が「非常によかった」「よかった」と評価するなど非常に満足度の高い事業となった。近年増加している特殊詐欺の実態や防犯対策について、実例を基に多くの区民に学んでもらうことができた。 防犯キャンペーンについては、自治協議会と高校生が協働で実施することで、多くの駅利用者に施錠の大切さを周知することができた。区内の自転車盗難件数も昨年と比較して減少傾向にあることから、事業の目的は概ね達成されたものと考えられる。 ポイ捨て防止看板については、効果的なデザインや文言について十分に研究を行って作成した。配布先の団体に対して実施した効果検証アンケートでは、ほぼ全ての団体から「ポイ捨てが減った」と回答を得たことから、ポイ捨てに対して非常に効果的な事業となった。</p> <p>【総括】 防犯事業については、両事業とも取り組みに至った背景や目的、被害に遭いやすい対象を絞り込み、それぞれの対象にマッチした手法で事業を展開したことで、その過程や準備も踏まえて非常に収穫の多い事業となった。ポイ捨て防止看板についても、検討・作成→周知・配布→効果検証と順序を立てて事業を展開することができた。</p>
備考	

(案)

区自治協議会提案事業 事業評価書

西区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	<p>支え合いの大切さ普及事業 【事業費予算 600 千円】</p>
事業目的・概要	<p>令和4年度に行った「支え合い」に関するアンケート調査結果から、中学生から50代までの現役世代において、支え合いの重要性は認識しているものの具体的に行動できていない人が多いことが分かった。この事業では、現役世代を中心として、支え合いに関する行動変容(＝普段から必要なときに能動的に支え合いを行うことができる)を促すためのきっかけづくりに取り組む。</p>
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	<p>■「5のつく日は“ご”あいさつデー」の水平展開 支え合いの行動を起こす際のきっかけとなる“他者への声掛け”を多くの人が自然に出来るようになるため、「毎月5のつく日はごあいさつDAY」をキャッチフレーズとした「あいさつ運動」を行った。</p> <p>(1)街頭キャンペーンの 日時 / 実施箇所 / 参加人数 ①令和6年 5月15日(水) 7:00～8:00 / JR越後線 内野駅 / 10名 ②令和6年 6月 5日(水) 7:00～8:00 / JR越後線 内野西が丘駅 / 9名 ③令和6年 7月 5日(金) 7:30～8:30 / JR越後線 新潟大学前駅 / 10名 ④令和6年 9月 5日(木) 7:30～8:30 / JR越後線 小針駅 / 20名 ⑤令和6年10月15日(火) 7:00～8:00 / JR越後線 寺尾駅 / 18名 ⑥令和6年11月 5日(火) 7:00～8:00 / JR越後線 内野駅 / 14名 ⑦令和6年12月15日(土) 10:30～11:30 / イオン新潟青山店 / 11名 ⑧令和7年 1月25日(土) 10:30～11:30 / イオン新潟西店 / 18名 ※総動員数…110名</p> <p>(2)協力団体…33団体 [内訳] 区内コミュニティ協議会…6団体 / 区内小中学校…16団体 自治会等…8団体 / 事業者など…3団体</p> <p>(3)配布媒体数 のぼり旗…81本 / ポスター…50枚 / 広報カード…約12,300 枚</p>
事業の評価 (地域課題の抽出方法や企画立案の評価、事業の公益性・実効性・効率性の評価など)	<p>【地域課題の抽出方法とその解決策】 令和5年度に開始した、支え合いの行動を起こすきっかけづくりとしてのあいさつ運動を継続することで、区内にさらにこの運動を周知し、日ごろから地域で支え合う雰囲気醸成を狙う。</p> <p>【成果】…協力団体アンケートにより検証 (回答団体:23 / 回答率:72%) ○設問に対する回答 ・この運動をきっかけに、地域や団体であいさつや声掛けをしやすい雰囲気になった。(74%) ・今後も運動への協力を継続したい。(100%)</p> <p>○自由記述欄より(よかった点など) ・地域や団体であいさつや声掛けの意識が向上し、習慣が広まるなど、雰囲気が良くなった。 ・現在、地域や団体で行っている活動がより活発になった。 ・駅での街頭キャンペーンや各団体での活動で、昨年よりも区内への周知が進んでいる。</p>
備考	

(案)

区自治協議会提案事業 事業評価書

西区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	区の魅力発信事業 【事業費予算 600 千円】
事業目的・概要	西区のさまざまな魅力を深掘りし、「風景」として区内外に発信することで、より多くの区民が西区への愛着を高め住み続けるとともに区外からの移住を増やすことを目指す。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	<p>①第2回 フォトコンテスト「わたしの西区自慢 写真大募集」 「西区八景」をはじめとした西区の魅力発信につなげるフォトコンテストを昨年度に引き続き実施した。今年度はより多くの応募を集めるため「e-niigata」の応募フォームによる募集に切り替えた。また前年度の振り返りを活かして、夏から冬までのより長い期間で実施した。</p> <p>投稿数:98件、入賞予定…西区ベストショット賞:20作品</p> <p>②「西区八景バスツアー」 西区の素敵な風景や魅力的なスポットを巡りながら写真撮影も楽しむバスツアーを実施した。一般向けと大学生向けの全2回実施し、対象によって訪問先を変えるなど工夫をしながら、企画を行った。参加者からは「委員による各地域の解説や各スポットでの店員・職員からの解説で、今まで知らなかった魅力を知ることができて良かった」などの声があった。</p> <p>(参加者) ①一般向け…14人 ②大学生向け…5人</p> <p>③区の公共交通に関する調査・研究 西区の魅力的な場所への訪問につながる移動手段として、区の公共交通の現状に関する調査・研究に取り組んだ。主な活動として、西区自治協議会全委員を対象とする公共交通に関するアンケートの実施、西区公共交通改善プランの勉強会、区バス・住民バスに関する勉強会などを行った。</p>
事業の評価 (地域課題の抽出方法や企画立案の評価、事業の公益性・実効性・効率性の評価など)	<p>【成果】 フォトコンテストは、昨年度よりも長い募集期間の中で定期的にSNSでも広報を行ったリアートフェスティバルでの昨年度入賞作品の展示などにより、西区の様々な魅力を区内外に発信することができた。 バスツアーは、参加者アンケートにおける満足度で「とても良かった」「良かった」との評価を受け、区の魅力を存分に体験できるツアーを企画・実施することができた。 区の公共交通に関する調査・研究においては、アンケート実施や各種の勉強会、委員同士の情報交換を通じて区の公共交通の現状や課題について理解を深めた。</p> <p>【課題】 フォトコンテストでは「e-niigata」を導入し、応募期間も長くとしたものの、結果的に応募件数は昨年と同程度であった。今後実施する場合には、広報のあり方をはじめ、応募を増やすための工夫が求められる。 バスツアーについては、初めて実施した事業だったため、準備期間が長くなってしまい、参加者募集期間が短かったこともあり集客に苦戦した。今後実施する際には、募集期間の長期化や開催時期の設定、行程などを再検討する必要がある。 公共交通に関しては、調査・研究には積極的に取り組んだが、具体的な事業には結びつかなかつたため、次期の取り組みの参考としたり、委員の選出母体での活動に生かすことにつなげたい。</p>
備考	

(案)

区自治協議会提案事業 事業評価書

西区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	第12回西区アートフェスティバル 【事業費予算1,400千円】
事業目的・概要	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・能登半島地震で大きな被害のあった西区を踊りやパフォーマンスで元気づける。 ・西区でアート活動に取り組んでいる団体等に発表の場を提供する。 ・大学などと連携を深め、学術・文化豊かな西区の魅力を発信する。 <p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西区自治協議会と新潟大学が共催で実施。 ・能登半島地震で大きな被害のあった西区を踊りやパフォーマンスで元気づけるため、「西区アートフェスティバル」を実施し、区民の地域交流を深める。また、西区にちなんだ多様な「アート作品」展示を行う。
事業の実施実績 (実施回数, 参加者数など)	<p><ステージ発表> 令和6年11月3日(日)13:00~16:00 黒崎市民会館 地域の8団体(うち1団体は映像出演)による踊りやパフォーマンスが披露された。</p> <p><アート作品展示> 令和6年11月2日(土)13:00~17:00、11月3日(日)9:00~16:00 黒崎市民会館 【作品内容】 ①新潟大学工学部によるアート作品 ②アール・ブリュット作品 ③区内小学生の自由研究優秀作品 ④新潟国際情報大学写真部作品 ⑤「わたしの西区自慢フォト&エッセイ」西区八景賞作品</p> <p><来場者延べ人数>:439人</p>
事業の評価 <small>地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など</small>	<p>◎アートフェスティバル 【地域課題の抽出とその解決策】 西区は坂井輪・西・黒崎地域の3地域で構成されているが、西区が一体となった文化活動を行うため、アートの表現活動に取り組んでいる方々に発表の場を創出し、大学等と連携を深め区民の一体感の醸成を図った。</p> <p>【アンケート結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆調査方法:来場者を対象に当日アンケート配布を行い、退場時に回答。 ◆有効回答:220名 >「ステージ発表」はどうだったか 【とても良い…70.2%、まあまあ良い…18.8%、ふつう…10.0%、やや不満…1.0%、不満…0%】 >「アート作品展示」はどうだったか 【とても良い…75.9%、まあまあ良い…21.1%、ふつう…3.0%、やや不満…0%、不満…0%】 <p>【評価(成果)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回のテーマである「西区を元気に、あばれよう!おどろろ!西区!」とステージ発表の内容がマッチして良い相乗効果が生まれたことで、来場者が増えた。 ・イベント開催前、開催後の新聞掲載や地域のニュースで取り上げられたことで、西区アートフェスティバルや西区で活動する団体を広く知ってもらうことができた。 ・新潟大学と連携した作品展示やワークショップにおいて学生と地域住民との交流が生まれ、受付業務などを自治協委員と学生が共同で行うことで世代間交流の場作りができた。 ・西区で活動している団体に発表の機会を提供することができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長年アートフェスティバルというイベント在りきで進めてきたが、現在の西区にどういった地域課題があり、どういう目的をもって自治協提案事業として取り組んでいくか再検討する必要がある。 ・特別部会として希望する自治協委員で運営してきたが、マンパワーが足りない部分があり、部会運営の方法を見直すのも一つだと考える。
備考	

(案)

区自治協議会提案事業 事業評価書

西区自治協議会

区分	内容
<p>テーマ・事業名</p>	<p>地域の防災力向上 【事業費予算 400 千円】</p>
<p>事業目的・概要</p>	<p>部会の垣根を越えて、委員全体で活発に議論を行うことを目指し、部会での取り組みとは別に「防災」をテーマとして委員全体で取り組む。災害に対する区民の不安、防災・減災への疑問などを少しでも解消することで、いざという場面で区民が迅速に対応できること、命を守る行動がとれることを目指し、勉強会やワークショップを実施する。</p>
<p>事業の実施実績 (実施回数, 参加者数など)</p>	<p>元旦に発生した地震を経て、これまで以上に地域住民の防災意識が高まりつつある中、地域防災力の向上に向けて、自治協議会委員を対象とした防災勉強会を開催した。</p> <p>【第1回】 テーマ)能登半島地震を受けて 避難行動の振り返りと災害への備えについて 日付)令和6年12月25日(水) 講師)防災士 古俣和博 氏 参加者)自治協議会委員 28名</p> <p>【第2回】 テーマ)津波ハザードマップの見方について 日付)令和7年1月30日(木) 講師)防災士 古俣和博 氏 参加者)自治協議会委員 26名</p> <p>講師の説明後、今後の防災活動の参考とするため、ワークショップ形式で委員同士が意見交換、情報共有を行い、活発な議論を行った。</p>
<p>事業の評価 (地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)</p>	<p>【成果・総括】 2回の勉強会を通して、今一度、震災時の自分の行動の振り返りを行い、災害に対する日頃の備えや発災時の迅速な判断と行動の重要性を改めて認識した。また、再編集された津波ハザードマップの見方についても勉強し、正しい災害への備えの理解を深め、防災力の向上につなげることができた。 今後、習得した知識を各推薦団体等に持ち帰って自治協議会委員が情報発信していくことで、更なる地域の防災力向上に発展することを期待する。</p>
<p>備考</p>	